



2026年9月期第3四半期 決算説明資料

株式会社グローバルキッズCOMPANY 2026年8月10日

将来見通し等に関する注意事項

本資料に記載されている計画や見通し、戦略などは本資料の作成時点において取得可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらにはリスクや不確実性が内在しております。

かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想とは異なる結果となる可能性があります。

当社が事業環境の説明を行う上で、参考となると考える情報を掲載しております。掲載データについては、調査方法や調査時期により結果が異なる可能性があります。本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。

※本資料の著作権は株式会社グローバルキッズCOMPANYに属し、その目的を問わず無断で複製、引用することを禁じます。

2026年9月期第3四半期 決算の概要	4
TOPICS	12
2026年9月期 業績見通し	17
付属資料	19

2026年9月期第3四半期ハイライト

2026年9月期 第3四半期業績

- 売上高は、譲渡・閉園の影響がある一方、M&Aの寄与により大幅増収
 - － 売上高 8,228百万円 （前年同期比+26.0%）
- M&Aの貢献に加えて、定員変更に伴う単価上昇、購買力向上による原価低減や販売管理費抑制が寄与。EBITDAは前年同期比大幅増
 - － EBITDA 766百万円 （前年同期比+39.2%）

2026年9月期 第3四半期 累計業績

- 累計売上高は、M&Aの寄与や保育サービス推進事業補助金の積み増しにより大幅増収
 - － 売上高 25,097百万円 （前年同期比+22.4%）
- 各四半期とも前年同期の水準を大きく上回り、累計EBITDAは大幅増
 - － EBITDA 1,964百万円 （前年同期比+55.3%）

2026年9月期 通期業績予想

- 第3四半期までの収支改善状況を踏まえ、売上高、EBITDAとも通期業績予想を上方修正
 - － 売上高 33,100百万円 （前期比+22.6%）
 - － EBITDA 2,350百万円 （前期比+39.1%）
 - － 配当 1株当たり40.0円 （前期比±0.0円）

2026年9月期第3四半期 決算の概要

2026年9月期第3四半期 業績概要

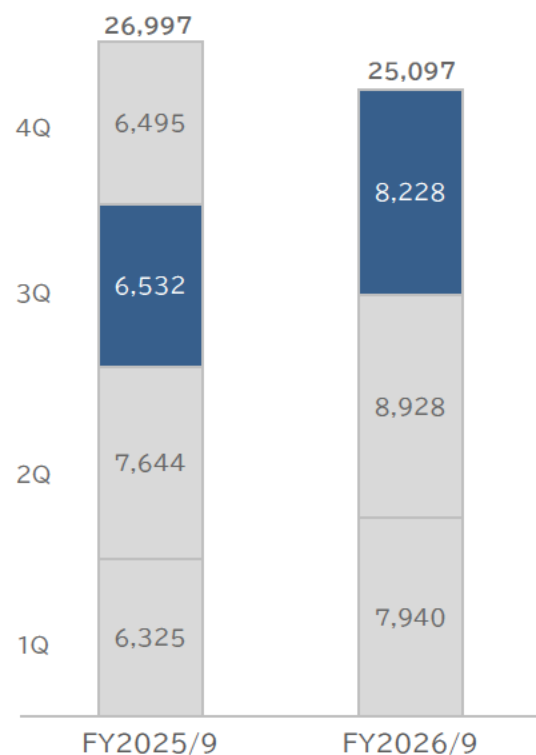
2026年9月期第3四半期 連結業績概要(百万円)

	FY2025/9 3Q累計	対売上高	FY2026/9 3Q累計	対売上高	前年同期比
売上高	20,502	-	25,097	-	+22.4%
売上総利益	2,031	9.9%	2,836	11.3%	+39.6%
EBITDA	1,264	6.2%	1,964	7.8%	+55.3%
営業利益	640	3.1%	1,254	5.0%	+95.9%
経常利益	616	3.0%	1,195	4.8%	+94.1%
親会社株主に帰属する四半期純利益	350	1.7%	835	3.3%	+138.4%

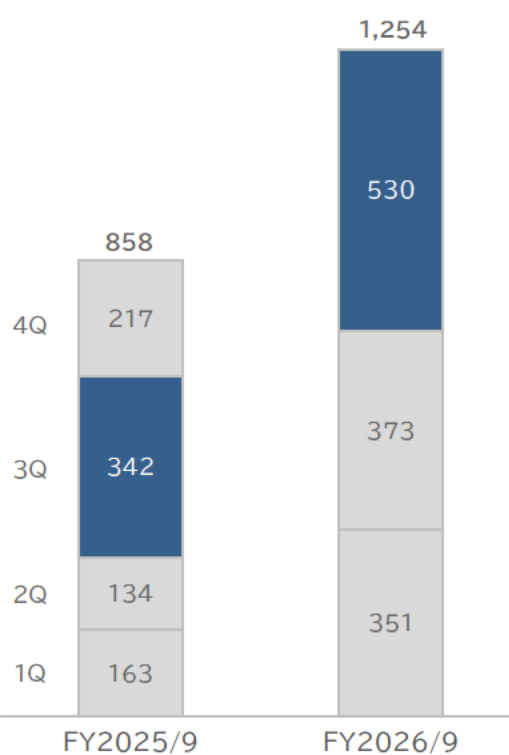
売上高、営業利益、親会社株主に帰属する四半期純利益

第3四半期としては、売上高、営業利益とも過去最高を更新。売上高はM&Aが寄与し大幅増収。営業利益はのれん償却費24百万円を計上したものの、定員変更に伴う単価上昇、購買力向上による原価低減、ICT投資一巡による関連費用減少が寄与。M&A寄与もあり前年同期比55.0%増の大幅増益。

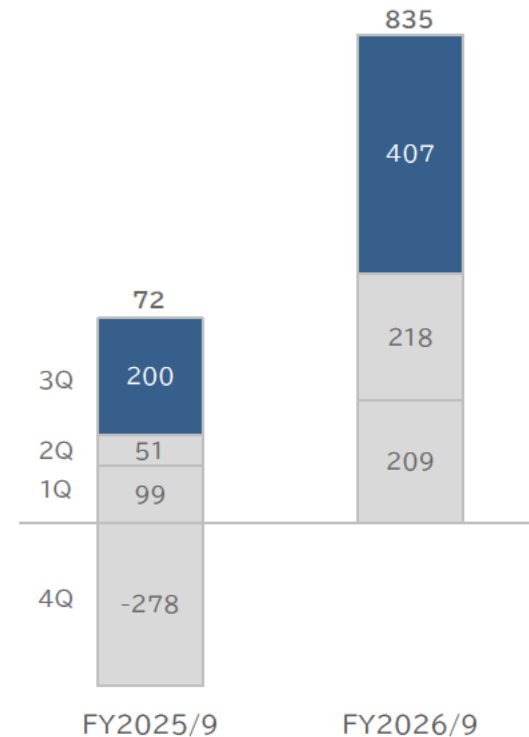
売上高(百万円)



営業利益(百万円)



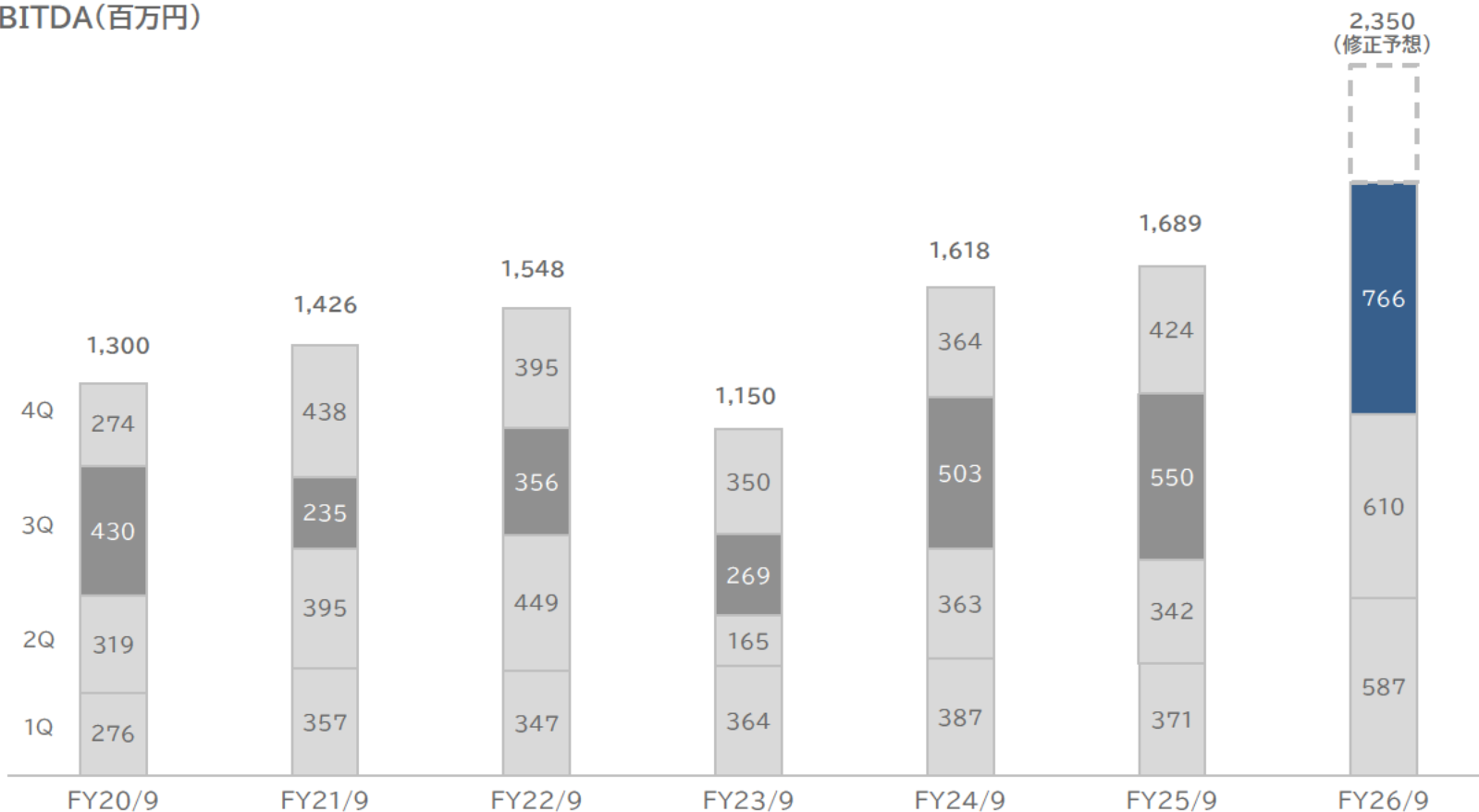
親会社株主に帰属する四半期純利益(百万円)



EBITDA

第3四半期のEBITDAは、前年同期比39.2%増の766百万円と過去最高を更新。累計でも過去最高となる1,964百万円。第3四半期までの収支改善状況を踏まえ、通期予想は期初予想の2,200百万円から2,350百万円に上方修正。

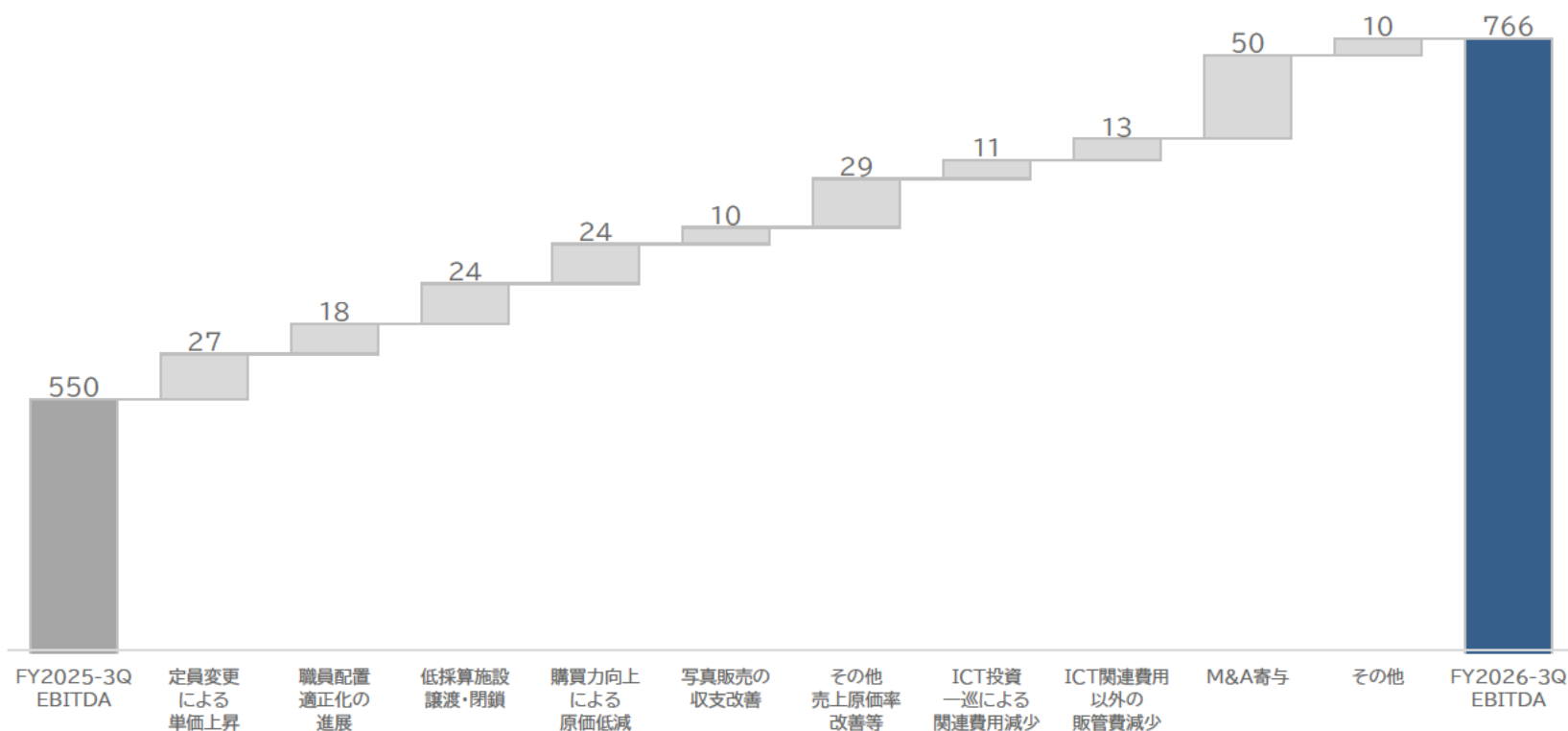
EBITDA(百万円)



EBITDA変動要因

定員変更に伴う単価上昇、低採算施設の譲渡・閉鎖、購買力向上による原価低減により売上総利益が拡大。加えてICT投資一巡による関連費用を中心とした販売管理費減少が利益貢献。M&Aが想定通りに寄与し、当第3四半期のEBITDAは前年同期比39.2%増の大幅増益。第3四半期としては過去最高を更新。

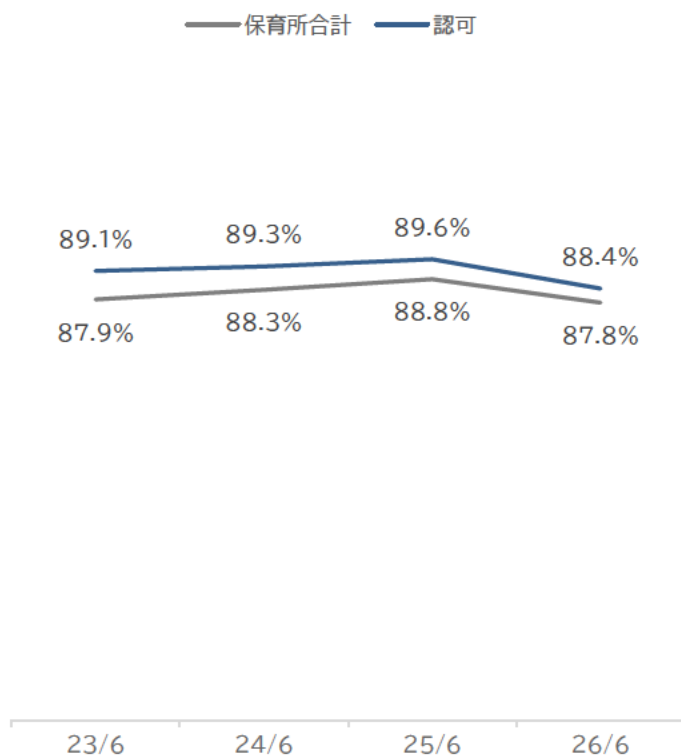
第3四半期 EBITDA変動要因(百万円)



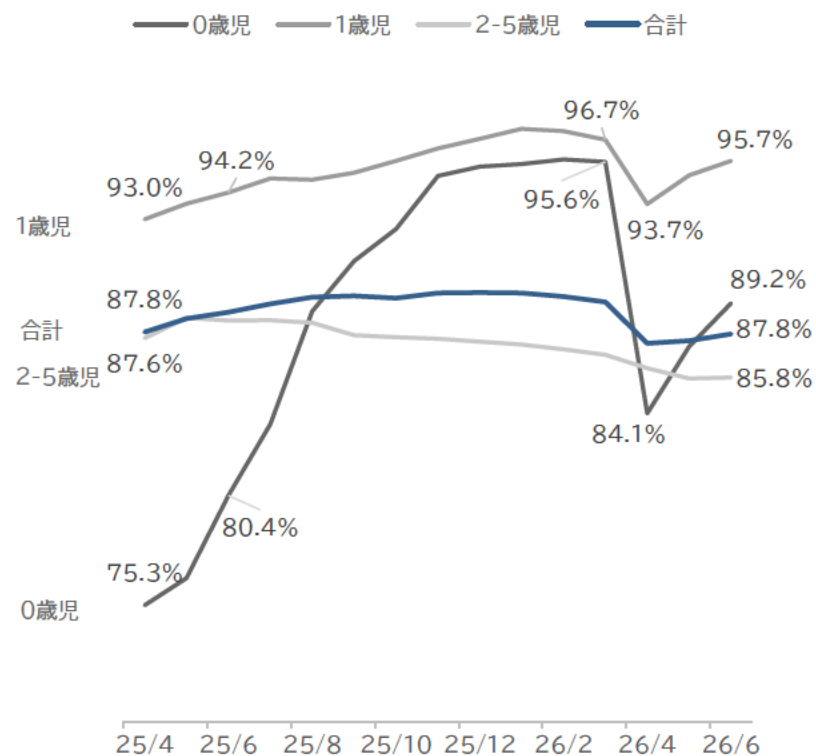
売上高：入所率

保育所合計の入所率は、前年同月比低下。歳児別では、4月に低下した0歳児及び1歳児の入所率が回復傾向。6月入所率は、東京都の保育料等第一子無償化施策が追い風となり、0歳児が89.2%と前年同月比8.8ptの大幅上昇。1歳児も95.7%と同1.4pt上昇。

保育所計



歳児別

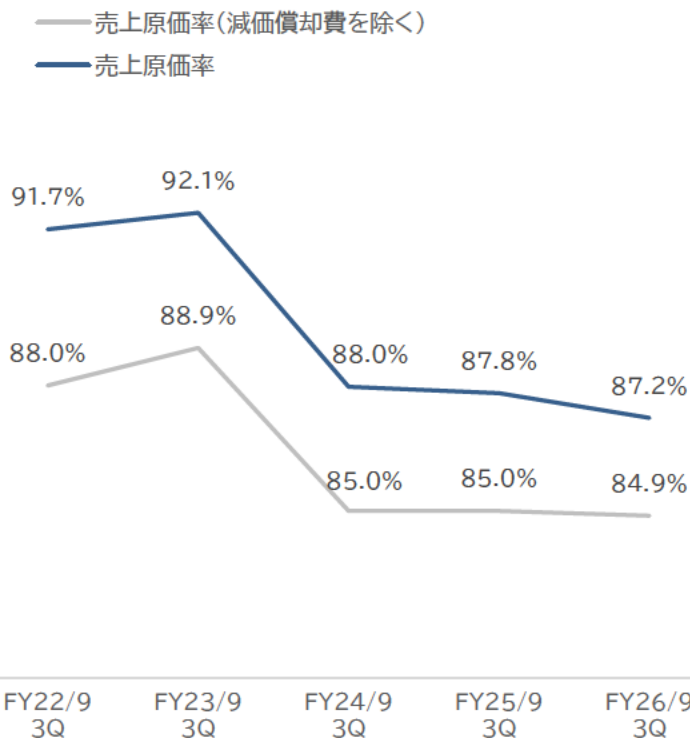


売上原価率・販売管理費率

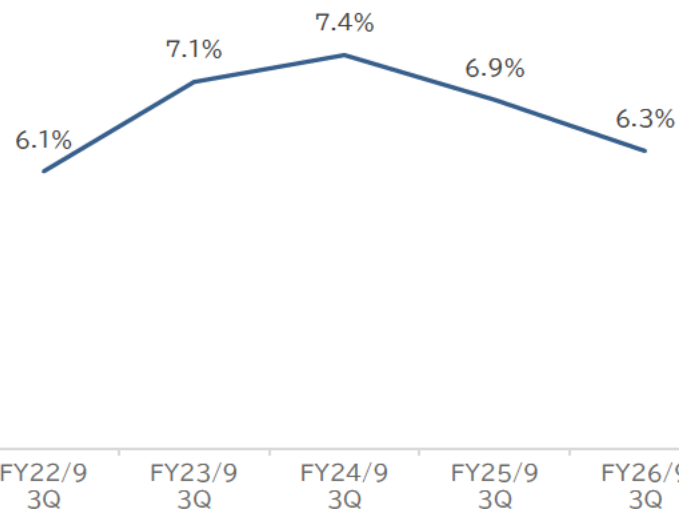
定員変更による単価上昇や消耗品等の低減により売上原価率(減価償却費を除く)は前年同期比0.1pt低下。

販売管理費率はICT関連費用を中心とした減少が寄与し0.6pt低下。

売上原価率



販売管理費率

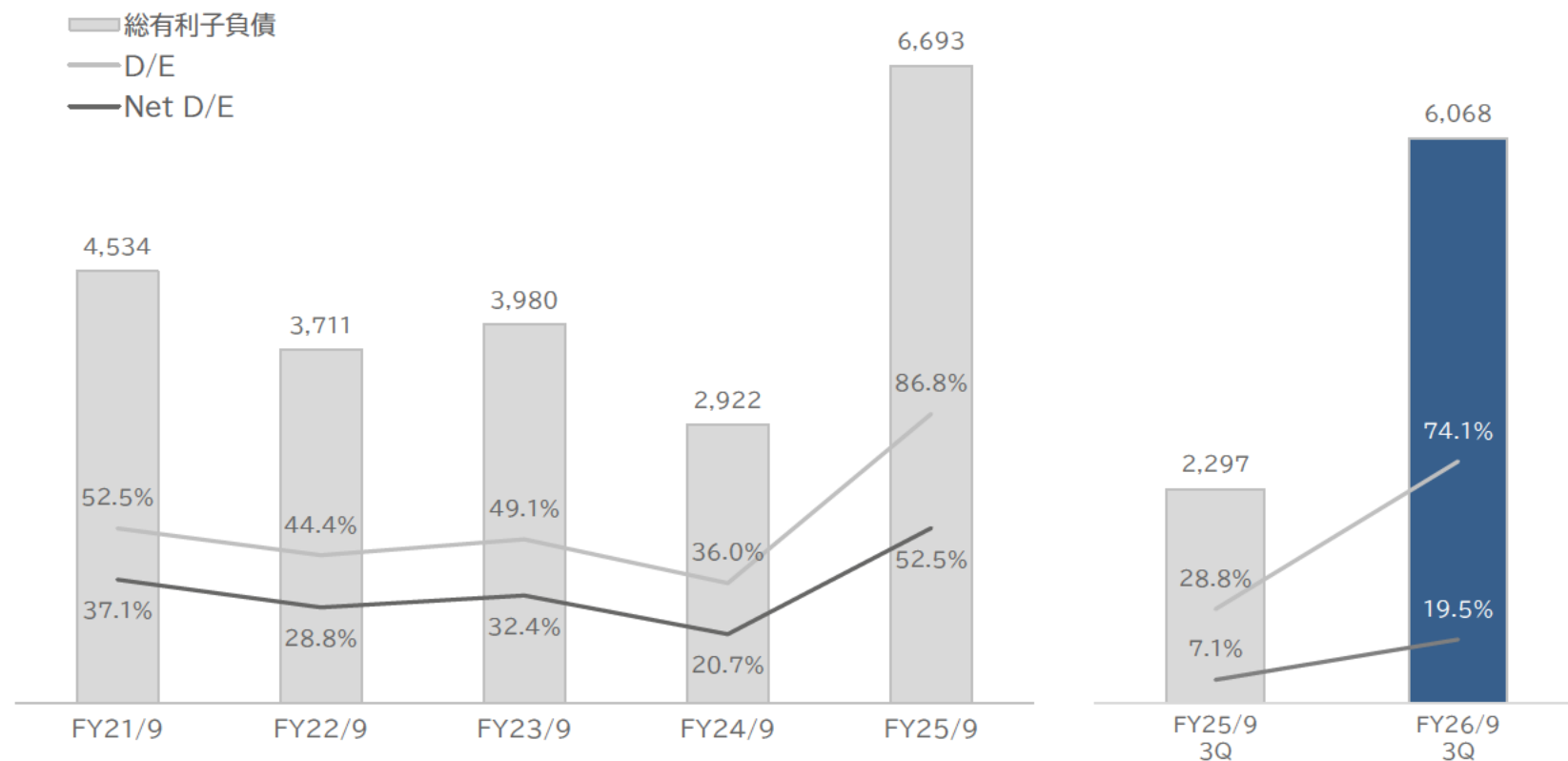


注)FY23/9に会計方針を見直し、施設に係る租税公課及び採用広告費を販売管理費から売上原価計上に変更。FY22/9以前は同様のベースに調整

財務健全性

第3四半期末の有利子負債は、M&A資金調達により前年同期に比べ増加したものの、借入返済により2025年9月期末比では625百万円減少。D/Eレシオは、前期末比12.7pt低下。

D/Eレシオ、総有利子負債(百万円)



TOPICS

グループ内組織再編（完全子会社間の吸収合併）

「アソシエ」ブランドの事業を一体化し、グループ運営の最適化と保育の質向上を図る

■再編の概要

- 方式 アソシエ・インターナショナルを存続会社とし、アソシエ・アカデミーを消滅会社とする吸収合併
- 効力発生日 2026年10月1日(予定)
- 業績への影響 完全子会社間の合併のため連結業績への影響は軽微(中長期の利益向上に寄与)

■事業体制の変化

【再編前】



【再編後】



■再編による効果

- 教育プログラムの高度化及び保育士専門性向上に向けた研修体制の強化
- グループ全体で「選ばれる園」づくりの推進
- 管理コストの適正化によるグループ運営の最適化
- 創出した経営資源の保育環境整備や成長投資への再投資

M & AのPMIの状況

前期に株式取得したアソシエグループは、着実に利益を積み上げ。

本部管理部門の融合、共同購買、保育施設定員変更等によるシナジー発現を推進。

■連結業績への寄与

- みなし取得日を2025年9月30日として連結会計処理を行っており、アソシエ・アカデミー及びアソシエ・インターナショナルの損益については、今期期初より連結。
- アソシエグループの業績は計画通りに進捗し連結業績に寄与。通期でも着実な利益寄与を見込む。
- 取得価額 3,200百万円
- 第3四半期累計のEBITDA寄与 220百万円

■PMIの進捗

- 保育所及び学童クラブ等において、安定した運営体制を継続。安心安全な保育環境及び職員の労働環境を維持。
- 本部管理部門について、本年5月にオフィス統合完了。バックオフィス業務の共通化、グループ全体の管理コスト適正化を推進。
- 食材仕入や電力・消耗品等の購買枠組み見直しによる購買力強化を検討・推進。スケールメリットを活かし収益率の改善を図る。
- 管理栄養士間の献立作成ノウハウや食育事例の共有を通じ、えんごはん・食育の質向上を推進。
- グローバルキッズ、おはようキッズで園児に提供している特別栽培米をアソシエ・インターナショナルにも展開予定。
- 入所状況を精査したうえで必要に応じ、グローバルキッズで実績のある定員変更を検討し収支改善を図る

イエナプラン教育

保育の質向上・教育の専門性を追求し、選ばれる園としての差別化を図るため「イエナプラン教育」ビジョンの全社導入を推進中。
国内初・同時認定としては最多となるグループ11施設が「研究推進園」に認定。



■「研究推進園」認定施設

- グローバルキッズ飯田橋園
- グローバルキッズ蒲田第二保育園
- グローバルキッズ新大塚園
- グローバルキッズ東日暮里園
- グローバルキッズ曳舟保育園
- グローバルキッズ代々木八幡園
- グローバルキッズ日吉園
- グローバルキッズ大倉山園
- グローバルキッズ美しが丘保育園
- おはよう保育園 清澄白河
- おはよう保育園 南砂町

※認定：一般社団法人日本イエナプラン教育協会

■進捗状況

新たに16施設の「研究推進園」認定に向け、本年度は保育・教育の質のさらなる向上を目指し、サポート体制を強化。

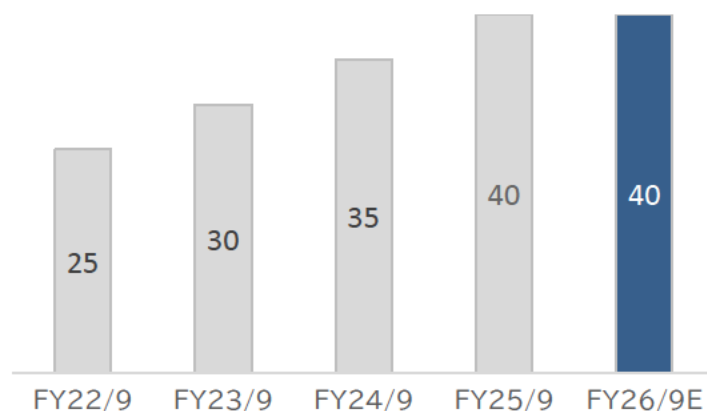
2026年10月にオランダでの海外研修を実施。現地のイエナプランスクールを視察予定。

株主還元を積極推進

現金配当の継続に加えて、株主優待を実施。

現金配当の継続

1株当たり配当金の推移(円)



株主優待制度

- 毎年3月末日及び9月末日時点の株主名簿に記載された500株以上を保有する株主様に、株主優待を進呈
- 進呈内容 年2回「giftee Box®」10,000ポイント
(年間20,000ポイント)

(注)「giftee Box®」は、株式会社ギフトィが提供するデジタルギフトであり、様々なラインナップの中から進呈された「ギフトポイント」内でお好きな商品と交換可能。「giftee Box®」及び「ギフトポイント」の利用には会員登録やアプリダウンロードの必要もなく、保有ポイント内で複数のギフトの選択にも対応

2026年9月期 業績見通し

2026年9月期 業績見通し

2026年9月期の第3四半期における収支改善状況を踏まえ、2026年9月期通期の業績見通しを上方修正。

EBITDAは前期比39.1%増、営業利益は同63.1%増の大幅増益へ。

(百万円)	FY2025/9 実績	FY2026/9 前回予想	FY2026/9 予想	前回予想比	前期比
売上高	26,997	33,000	33,100	+0.3%	+22.6%
EBITDA	1,689	2,200	2,350	+6.8%	+39.1%
営業利益	858	1,200	1,400	+16.7%	+63.1%
経常利益	808	1,120	1,320	+17.9%	+63.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	72	650	700	+7.7%	+865.0%
1株当たり配当金	40.0円	40.0円	40.0円	—	±0.0円

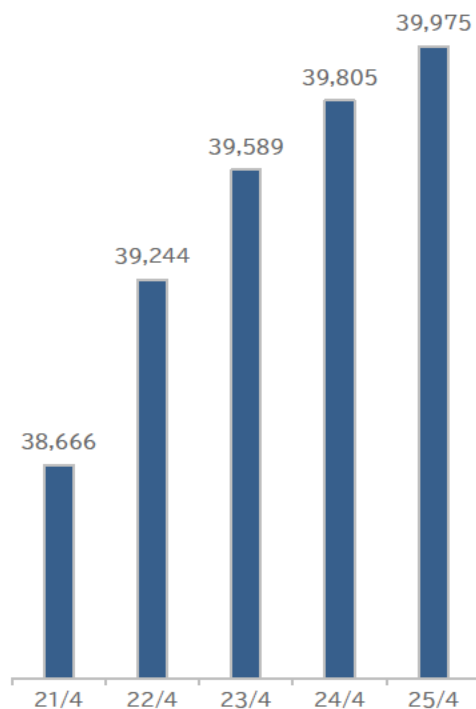
付属資料

運営施設数の内訳

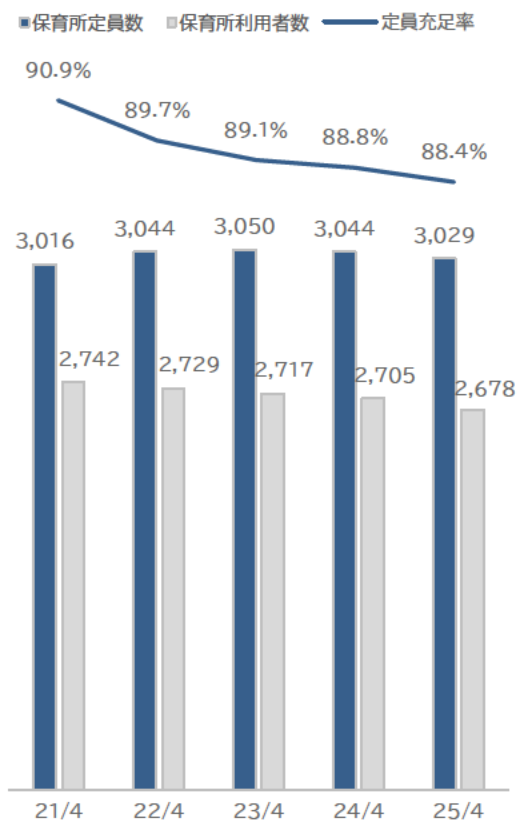
	FY15/9	FY16/9	FY17/9	FY18/9	FY19/9	FY20/9	FY21/9	FY22/9	FY23/9	FY24/9	FY25/9	FY26/9E
認可(東京都)	28	38	56	70	86	91	98	103	115	115	133	133
認可(神奈川県)	16	17	19	20	23	25	27	28	29	29	30	30
認可(その他)	3	5	6	8	9	9	10	10	10	5	2	-
東京都認証	21	22	20	20	17	17	16	15	15	4	3	1
認定こども園・ その他保育所	5	6	5	5	6	6	6	5	7	4	8	7
企業主導型	-	-	-	7	11	11	11	-	1	-	-	-
学童・児童館	10	11	12	12	13	13	12	10	11	11	25	26
児童発達支援	-	-	-	-	1	4	4	3	-	-	1	1
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	7
合計	83	99	118	142	166	176	184	174	188	168	209	205

保育所数、定員充足率、待機児童数

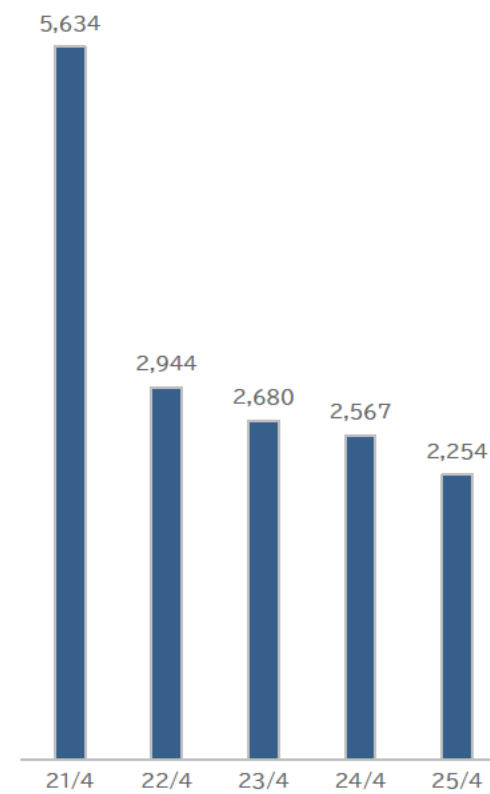
全国保育所等数



全国保育所の定員と利用状況(千人)



全国待機児童数(人)



出所:厚生労働省、こども家庭庁「保育所等関連状況取りまとめ」より

GlobalKids 